

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和4年6月10日(金) 13時30分～14時35分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、有吉上席安全審査官、上野管理官補佐、
小舞管理官補佐、荒井安全審査専門職

検査グループ 核燃料施設等監視部門

栗崎企画調査官、石井主任監視指導官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安管理課 マネージャー 他1名

再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他9名

敦賀廃止措置実証本部 廃止措置推進室 グループリーダー

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

資料1 使用済燃料の搬出に係る再処理事業指定の変更について

資料2 使用済燃料の搬出方法及び搬出に係る対策等について

資料3 分離精製工場、高放射性廃液貯蔵場等への浄水供給配管の一部更新

資料4 東海再処理施設の変更認可申請予定案件について

資料5 東海再処理施設の廃止措置等に係る面談スケジュール（案）

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	それでは東海再処理の面談を始めますのでよろしくお願いします。
0:00:08	それでは、機構から資料に基づいて説明をお願いします。
0:00:17	現行モリカワです。まずTF-を付加処理、運転に向けた準備状況ということでそれで口頭ですけど前回の面談以降、
0:00:28	進捗状況の方説明させていただきます。
0:00:31	まずBSMのITVカメラですねこちらの交換を6月の2日の日に、
0:00:41	終了しております。カメラの終了交換終了後ですね。
0:00:48	残留ガラス状況等でいろいろ関係の付帯配管を取り外しておりましたのでそちらの方の復旧作業、6月の3日から、
0:00:57	2交代で行っておりまして本日通でこちらの方終了する見込みでございます。
0:01:05	来週以降はですね、来週月曜日の予定で、流下ノズルと加熱コイルの繰り合わせ確認ということで、運転前に毎回確認することにしておりましてそちらを
0:01:19	来週月曜日に確認終わってから、炉内にばらつかの投入等を行っていくということで、今現状として計画通り、
0:01:29	進んでいる状況でございます。簡単ですけど以上です。
0:01:34	はいありがとうございます。今の状況について、規制庁側からコメント等ありあったらお願いします。
0:02:03	特によろしいでしょうか。
0:02:10	いや、そ、それでは引き続いて資料2、資料一位ですね、について説明をお願いします。
0:02:20	では資料1について、再処理センターの技術部の小杉の方からご説明いたします。
0:02:27	表1の冒頭にございます通り再処理施設東海再処理施設に貯蔵されている。
0:02:33	ふげんの使用済み燃料の搬出に向けまして、
0:02:37	ふげんの減少、設置許可とそれから東海再処理施設の再処理事業指定の位置付け、それと、再処理し、再処理事業指定の変更について整理してございます。
0:02:51	一番のところでございます。まずふげんの使用済み燃料の位置付けを整理してございます。最初のポツのところでございますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:58	T R P にちょうどされておりますふげんの使用済み燃料は、まだ再処理されていない状態ということで二つ目のポツでございます。当該使用済み燃料はふげんの設置許可申請書の 8 ポツ、
0:03:12	下の枠の中にございます今の設置許可申請書の記載でございますが、
0:03:17	こちらの通り国内外の再処理事業者において全量再処理を行うという記載となっておりますが、
0:03:25	そちらが完了していない状態となっております。
0:03:29	1 ポツの三つ目のポツでございます従って東海再処理施設に貯蔵中のふげん使用済み燃料に対しては、
0:03:37	ふげんの設置許可申請書の 8 ポツが引き続き適用されるものとして、これに従う必要があるという状況となっております、東海再処理側でこちらを変更できるものではないという位置付けとなっております。
0:03:53	これを踏まえまして 2 ポツでございます。対応方針でございますが、まず一つ目のポツですが東海再処理施設の
0:04:02	事業主、事業し、事業指定申請書に、使用済み燃料の搬出に係る記載、処理する、再処理されていない使用済み燃料の搬出に係るに関する記載を追加して、
0:04:16	搬出行為を明確化するという進めたいと考えております。
0:04:22	二つ目のポツでございます搬出行為の追加にあたり、
0:04:26	具体的な処分の方法についてはふげん側の設置許可申請書のほうで記載されてございますので、再処理側としてはふげんの設置許可申請書に従つ、
0:04:40	再処理施設から搬出すると、こういった記載を追記するという方向で考えてございます。
0:04:46	三つ目のポツでございますが、これらの細かい内容につきましては機構内の文章で取り決めを交わして、明確化することを考えてございます。
0:04:56	3 ポツでございます。具体的な申請書、失礼しました。事業指定申請書への反映ということで、
0:05:05	両括弧 1 が既存既存の申請書の情報が書いてございます①②がそれぞれ、ふげん側それから再処理側の申請書の内容となっております。
0:05:15	次のページの両括弧 2 でございます。こちらが申請書、再処理事業指定申請書の変更の案でございますが、
0:05:25	こちらに関しましては、以下の記載を追加ということで、6 ポツのところ、使用済み燃料から分離された核燃料物質の処分の方法、こちらに以下の記載を追加することを考えております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:38	内容としては丸井高野記載で、なお本施設において再処理を行わない。
0:05:44	ふげんの使用済み燃料は、分限の設置許可申請書における使用済み燃料の処分の方向に従い全量を搬出する。
0:05:53	こういった趣旨の記載を追加することを考えてございます。
0:05:58	4 ポツでございます。こちらテーマ目的に対する検討ということで、こちらに関しての整理でございますが、
0:06:07	上記の内容の変更案につきましては、再処理を行わない
0:06:14	ふげんの使用済み燃料の搬出について追加するものということと整理してございまして、以下四つのポツの観点から、再処理施設が平和も平和の目的以外に利用される恐れはないと。
0:06:28	考えております。それぞれ四つの理由というところでございますがまず一つ目のポツが、再処理施設はすでに廃止措置中であり、再処理は行われないこと。
0:06:39	それから二つ目のことでございますが、分離された使用済み燃料から分離された核燃料物質の処分の方法を変更するものではないということ。
0:06:50	それから三つ目のポツですが、ふげんの設置許可申請書における、使用済み燃料の処分の方法に従って全量搬出する、という記載にとどめているということ。それから四つ目のポツですが、
0:07:03	そのふげんの設置許可申請書の処分の方法については、
0:07:10	ふげん側の変更申請時に平和目的以外に利用される恐れがないことの確認を受けること。
0:07:17	以上の確認等を行っている等のことから、平和目的以外に利用されるものでは、恐れはないと、田子でございます。
0:07:31	事業指定の変更の案に関しましては、説明としては以上でございます。
0:07:41	はいありがとうございます。規制庁側が確認等あればお願いします。
0:07:58	嘘
0:08:01	ごめんなさい。
0:08:10	すいません、アリヨシですけど。
0:08:13	細野さんは別にこれで問題ないんでしょ。
0:08:36	今の時点では特に問題ないかなと思います。
0:08:39	はい。
0:08:46	今の時点では、はい。
0:08:50	嫌らしい言い方です。
0:08:53	あれ、今の千田っていうのは将来的に問題あるかもしれないですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:04	わかんないんですよね。
0:09:07	何かまいちこう。
0:09:10	きっとしたいところはあること、感じはするんだけどな。
0:09:15	特に問題点がクリアにならないとそういう意味ですかね。
0:09:20	うん。
0:09:24	最初だからねえ。
0:09:27	何があってもおかしくないっちゃうことだけなのかもしれませんしね。
0:09:33	なるほど。
0:09:44	センターの山口です。ご無沙汰しております。
0:09:48	江藤、本日も、出させていただいた資料、もともと規制庁さんの方がホームの方の確認が必要だろうということもございましたので、
0:09:59	前回に比べ少し具体的に、このような形を
0:10:05	記載の方法についてもですね、具体化させていただいた資料にさせていた たいています。このような形で、九州さんの方の中で、少しご検討い ただければというふうに思っているところでございます。
0:10:17	よろしくお願いいたします。
0:10:20	はい、わかりました。
0:10:24	他よろしければ、引き続いて、資料2について説明をお願いします。
0:10:34	はい。前処理施設課の仲村です。これは資料2ということで、使用済み 燃料の搬送方法及び安心に係る対策等について確認をいたします。
0:10:44	今回は過去の面談でコメントのありました、使用済み燃料の落下評価に ついて考え方を整理して参りました。それについてご説明します。ま た、17 ページ以降に参考として
0:10:57	シューズ燃料の搬出に関わる体制、或いは想定される不具合事象といっ たものについて総会を整理しましたのでその対応についてご説明したい と思います。
0:11:07	それでは、4 ページ目ご覧ください。1 ポツ概要の方ですけども、修繕 料の廃止に向けた作業をより確実に進めたための設備対策を実施すると ともに、
0:11:20	使用済み燃料の搬送作業に想定される事故による周辺、
0:11:24	公衆への影響を評価したということで下の方に示します、2 ポツは、こ れまでもご説明しましたけれども使用済み燃料の搬出方法、こちら資 源、4 月 26 日の面談で詳細に説明いたしましたけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:38	こちらの方から A 氏簡単にご説明しています。また図 1 ということで、こちらを加古の梅田で使用した資料を添付しております。
0:11:47	3 ポツ、使用済み燃料の搬送に係る設備対策等ということということで、今回、小路燃料の搬出に当たりましては二つの工事を考えております。一つ目は、は燃料価格フレーム吊りの落下防止対策ということで、
0:12:02	各燃料活動クレーンの I R を二重化し、井関野中を防止するということでこちら、節項 2 E として今後 6 月の新設当時に推薦したいと思えます。また、
0:12:14	両括弧 2 番は、燃料取り出しプールクレーンの操作性の向上対策ということで、これは以前、4 月 21 日の面談でご説明したものでございます。操作性を向上させるという対策を実施します。
0:12:26	田野大勝クレーンの吊荷の落下防止対策について、8 ページ目の図について簡単にご説明したいと思えます。
0:12:41	8 ページ目は、ちょっと A 4 横で A の図面になります。真ん中の左側が既設の
0:12:49	クレーン、燃料価格クレーンなります。改造箇所としては、右側に四角で拡大しておりますけれども、従来、ワイヤー 300 メートルの一本ものをワイヤで、それぞれ
0:13:04	会社に巻きつけて、
0:13:06	100 低角 110 t 0 クレーンを、を引き上げるという構造だったものを、この真ん中の右左のバランスが赤字で示し、赤い色線で示してございますけれども、一方の F I R E 流布
0:13:19	真ん中で分けまして、その争っといった会社の部分ですね、そちらを審査みたいな形の、
0:13:27	すいませんこれ。
0:13:29	支払いなんかイコライザーびゅイコライザーしぶといクレイザーとなっておりますけど、じゃなくてイコライザー層序すいませんこれは誤植間違いであります。こちらは下の部分をそれぞれ止めて、バランスをとるというやり方に直すものでございます。
0:13:43	そういうことで、2 本のワイヤー、右左ということでは分けまして 1 本のワイヤー切れても、もう片一方で支えられるような工場の仕組みに変えるものでございます。
0:13:55	もともとこのワイヤーロープ、につきましてはかなりいいか、荷重に対して余裕を持ったものでございます。低角 5 倍の会社に対してそれに対して 7 倍以上の荷重に耐えるようになってございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:08	1本が切れてもテープでもう保持できるというやり方になります。ただ、日本のバイヤーが1本入れた場合は、これまで通りのクレーンの操作というのはできなくなりますので、この場合
0:14:22	その近くの場所に持ってて降ろして、ワイヤーを交換するということになると思います。
0:14:28	こちらにつきましては、今後
0:14:31	そのこのレベルの
0:14:33	埋設計画ということで、今後ご説明概要についてはまた詳細にご説明したいと思います。
0:14:41	それでは本文の方戻ります。
0:14:46	4ページ目の下に決めます。今回ご説明するものを目的として、使用済み燃料の搬送作業中に想定される事項ということで、まず考え方としては想定される事故の選定ということで4ポチ目してございます。
0:15:00	消費燃料の発生にあたっては、三つ大きいそのクレーンを使います燃料貯蔵プールクレーン。
0:15:06	それと燃料取り出すプールクレーン及び燃料かつクレーン、こちらは鋼板石の部分ですね、10ページ目以降に、9ページ目以降にそれぞれの図面を示してございます。
0:15:17	燃料の廃止にあたってこの三つのエリアを出力いたします。
0:15:22	使用済み燃料は、直接酸素、この三つ遅れに使って、
0:15:28	使いますので、この状態に応じてケーススタディを行って、事故を選定したいと考えております。小豆燃料を直接搬送する場合と、輸送容器等に装荷した場合、状態で搬送する場合がありますのでこれらのこれらのケースに分類して、
0:15:42	放射性物質の放出事象が起こり得る事故を選定したと。
0:15:46	ということで、三つに分けてございます。一つ目は、燃料バスケットに装荷した状態。
0:15:53	7ページ目をご覧ください。
0:15:55	これは以前にもお示した話になります。
0:15:58	先ほど、三つのページの位置関係ですけども、右からB、現在、F A使用済み燃料貯蔵してます燃料バスケットという水密容器に入れた状態で、我々の貯蔵しております。これを、
0:16:12	門馬家の方に持ってきまして、一番下の深い部分ですね持ってきまして、ここから、左から受け入れた燃料キャスクに入れると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:21	右側の方は、燃料バスケットに入った状態です。一番下の取り出しプールというところで、申請詰めを行って取り出す、これが阿南清宮波になった状態になります。
0:16:33	それ以降ですね、燃料をあそこに入れた状態では、蓋をした状態で、搬送するということで、大きく三つの状態に分かれると考えております。
0:16:47	はい。では、すいません本部の方に戻らせていただきますと、50 ページ目の
0:16:53	4 行下ですね、この三つの状態、ということで、両括弧 1 は燃料バスケットに装荷した状態で搬送する場合ということで、
0:17:00	燃料取り出し通るクレーンのバスケット掴みの昇降溶媒は二重化されており、昇降用モータには点字フリーケンス装備され、バスケット掴みが低減した男児にも、燃料貯蔵バスケットを把持する構造であることから、
0:17:13	昇降や一本の破断または軽減措置等ない燃料バスケットが落下することはないと。
0:17:18	ということで、こちらの上の方に、
0:17:23	図面の
0:17:27	9 ページ目をご覧、ごめんなさい。
0:17:31	スケジュール、
0:17:36	10 ページ目をご覧ください。
0:17:43	これが燃料を取り出すプレイの概要図になります。
0:17:49	ごめんなさい。
0:17:51	小石君。
0:17:53	そうですね。図面の
0:17:56	真ん中上にございます。バスケットチーミングの上の部分、上の方にあるんですけども、下期昇降用ワイヤーはこちらの方は二重化されたようにすでに入荷されている。
0:18:05	ただし、
0:18:10	右側に、その右にあるように、
0:18:13	燃料装荷便の一つ目を扱う部分ですね、そのタイミングの上が小磯幼稚園でこれが 1 本では、保持されているということになります。
0:18:24	文章の方戻ります 5 ページ目に戻りますと、一方に書いてございます燃料貯蔵、
0:18:34	ごめんなさい、ごめんなさい申し上げました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:38	追加しました。
0:18:42	生活ですがページ間違えます 9 ページ目の、13 の燃料貯蔵強力にですね こちらが昇降用以外が、
0:18:50	1 本となっているということです。
0:19:00	はい。そうですね。ごめんなさい。一方、5 ページ目の一方の方ですけども、燃料貯蔵協力については、燃料取り出しプレイズ同じく、電源遮断時には、バスケットは維持する構造であるものの、バスケット掴みの昇降ワイヤは一流であって、
0:19:15	昇降用ワイヤー破断により燃料バスケットが落下することになるが、吊り上げ高さが最大でも約 80 センチ程度であり、仮にバスケットが落下しても、使用済み燃料は損傷せずに、
0:19:28	放射性物質の有意な放出に至らないことで、それをすべて失礼いたしました。9 ページ目に示す図 3 がございます。
0:19:37	燃料貯蔵プールの中でバスケット移動するものでございます。こちら吊上げえまあ、燃料等、
0:19:44	取り出しプールの方に移動させるためのもので、この
0:19:49	7 ページ目の、ちょっとちょっと図面が飛んで申し訳ないんです 7 ページ目の図面でいうと、B の部分ですね燃料創造グループ、こちらの遅れになりますが、これが倍側が 1 本です。
0:20:00	ただし、こちらの場合は、床下床上アユ低い位置で取り扱いますので、これらの評価、今までの評価の中で
0:20:10	使用済み燃料を今年は仮に置くとした質問を使用済み燃料が損傷しないということを確認、評価上確認してございます。
0:20:19	続いて 5 ページ目
0:20:21	の両括弧 2 番になりますけども、荘司燃料を直接搬送する場合ということで、こちらトリアスプールクレーンで燃料 1 体取り出すところですね、こちらの
0:20:32	法律に取り付けられた燃料掴みを使いますけども、電氣的には問題ないんですけども、小磯。
0:20:40	大野チェーンが 1 本ということで、そのチェーンそのものは十分な安全係数を有するもんですけども、仮に破断した場合には、使用済み燃料が落下し、破損する恐れがあるということで、ちょうどいいです。
0:20:53	両括弧 3 番の、今度は輸送容器に装荷した場合、状態で搬送する場合ということで、こちら今回燃料加工クレーンのワイヤーロープを二重化いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:04	また、次の昇降モータには電磁ブレーキを装備されていることから電氣的にも安全であるということを確認し、
0:21:10	ということになります。
0:21:11	これらの 1 から 3 番の結果から、0 勝国連との搬送設備には、次の落下防止対策を実施していることのページ。
0:21:20	なりますけども、
0:21:21	今回使用済み燃料爆発遅い穴井が、燃料取出し登録例により、E 商品発生したり、放出のチェーンの単一故障により落下させた場合、
0:21:31	青年が破損し放射性物を起こす可能性があることから、主事なり一体の何か損傷を想定される事項を選定してその影響について確認したということで、考え方を整理していく。また、
0:21:43	その評価の方ですけど別添のほうになります。
0:21:50	すいません。12 ページ目に、
0:21:53	添付 1 ということで、使用済み燃料を一定の三区学科参照における周辺公衆に対する放射線被ばくの影響評価ということを記載してございます。こちらの評価の方法なんですけれども、
0:22:06	これまでふげんさんとか或いは県さんで評価されてるものと同様な評価方法を使っております。
0:22:13	また、データにつきましては、我々保管していますように精製工場に貯蔵しております燃料 265 体の中で
0:22:24	一番高いものですね、そういったものを選定してございます。
0:22:27	また、通す相対線量、或いは相対濃度に関しましては、過去に
0:22:35	都市計画で申請した時と、と同じ
0:22:39	値を使っております。評価の方の方ですけども、想定される事項ということで、S A T R 燃料の搬出に燃料 1 体が損傷すると。
0:22:50	ということで、燃料旧館の損傷によって、核燃料物質がとりあえず水中に放出されて、或いはこの中に移行して、建屋関係を経由して週 1 から放出される。
0:23:00	10 ページ、真ん中になりますけども評価条件としては、東及び加瀬藤野笠野量を記載してございます。また、
0:23:08	す。
0:23:10	表 1 の方に、
0:23:16	16 ページ目の方に、今回、終了しました。長寿園により残存する核燃料物質、核分裂生成物量ということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:27	最大値ですね、低濃縮ウラン、EPR腰痛と、ATR猛禽タイプPとの現在貯蔵しておりますけれどもそれぞれの最大値を下線で引いております。プロット85の放射のようであれば、
0:23:40	低濃縮ウランの方が高いですねこちら参入すると。
0:23:43	要素12級残したのであれば、木質タイプBのためのこちらを選定して評価を行っていただきます。
0:23:53	はい。
0:23:54	では今後の12ページ目に戻らさせていただきます。資料(2)番、金。
0:23:59	移行率ですけれども、
0:24:04	①AMはそげホシされたクリプトンは全量がこういう数値で拡散して、呉堀の福士でございます。或いは、要素129は女性係数を用いております。
0:24:16	100分の1の管理精製工場のプリフォーム口に補正、
0:24:22	Aさんはプレイボールのを、福重ホシ猿田ピット85及び臼井地域は、より精製工場の建屋関係を経営して、全量が第1起こされるということにしております。
0:24:33	評価方法等につきましては従来のやり方を東條でございます。結果の方なんですけれども、14ページ目でございます。
0:24:43	5ポツクリック85の放射線からの γ 線及び β 線に記述する事項政令というのは、それぞれ γ 線ですと3.5掛け10の60枚mSv。
0:24:54	β 線ですと 1.1×10^{-06} 、60mSvということです。また、要素1に吸収しましては 2.6×10 のマイナス8乗ということでこれらを合計しますと、
0:25:06	約4.610のマイナス6乗mSvということで十分低いものとなっております。
0:25:15	続きまして17ページ目をご覧ください。
0:25:18	方に工程洗浄と同様に、
0:25:22	使用済み燃料の配置に向けた準備ということで体制及び不具合に対する対応、或いは教育訓練等をこちらで説明してございます。
0:25:33	体制の方ですけれども、
0:25:35	こちらの
0:25:37	委員の説明に反する作業につきましては施設管理部長野本大町施設課長が実施する、伊勢施設課長は、当然ながらクレーン操作の有資格者を含めたパート創造に必要な要員を確保すると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:49	3 ポツ、設備点検及び不具合に対する対応なんですけども、こちら対象設備としましては、
0:25:56	宇井先生工場の受入貯蔵設備のうち、使用済み燃料に搬送に用いる対象ということで、すでにあるプール間にですね、ユーティリティとかプール水処理系等、建屋関係等につきましては、
0:26:08	搬出操作によらず、常時性能維持を継続することの責任において予備系統が設置されていることから、何かあれば予備系統への切り換え等により安全機能を維持できることから、対象設備から除外する。
0:26:22	8 日後には不具合の事象の対応として搬送時における操作項目、或いはその操作項目で想定できる評価事象を、及び想定されるようにについて抽出いたしました。
0:26:34	不具合事象の要因、及び検知としては及び早期復旧に向けた対応ということで、現状、これに関しては、臨時点検、四半期点検或いは月例証明提携等を行っております。
0:26:46	これにおきまして早期上、不具合事象を検知できるかを確認して、必要に応じて追加の点検を行う。
0:26:52	また、仮に不具合事象が発生した場合、容易に交換できる進めていただけるものについては、
0:26:57	必要に応じて要件を確保する等の対応を示すということで、次のページ、19 ページ目以降に、
0:27:07	表 1 ということで使用済み燃料の搬送中に想定される主な不具合事象等処置対策を載せております。
0:27:13	一番左がちょっと字がこのとき申し訳ございません。対象設備に燃料活用クレーン等の対象を載せてございます。次の項目は操作項目、次に不具合事象。
0:27:26	また、
0:27:28	その中にも想定される要因、不具合箇所と想定される原因、そして、ちょうど真ん中にございます。現状の設備点検、クレーンですので年 1 年形成提供を行っておりますのでその点検の内容ですね。
0:27:40	それと右から 3 番目になりますけども不具合事象の要因の検知及び早期復旧に向けた対応、
0:27:47	民間 2 番目はは装置の不具合の処置。
0:27:50	1 枚目になりますけども、復旧に要する時間ということでまとめてございます。これらが
0:27:56	19 ページ目から 22 ページ目に記載してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:01	理念だけでもなく、
0:28:03	プールの移動に際しては、22 ページ目にございますけれども、燃料取り出しプール台車とか、或いはプール間の間につけております水中扉とか、衛藤。
0:28:14	あそこを外に出す、プラップ扉等ございます。これはすべて
0:28:21	稼働するものについて洗い出しましてこのような表にまとめてございます。表の中、簡単にご説明しますと、例えば電力、一番、19 ページ目の一番上ですけども、
0:28:32	電力 20 日クレーンの移動操作におきましては、連中のクレーンの走行方向の不良と、会社としては層厚思うた。
0:28:41	想定される原因としてはモーターのレッカーベアリングの損傷、潤滑不足等ございます。現状設備点検としてはモータの電流値とか節減抵抗を
0:28:51	毎年、
0:28:52	或いは年次或いは決意ではかっております。その他、開館目的佐藤確認を行っています。不具合事象に対する
0:29:00	要因の検知及び早期早期復旧に向けた対応としては、これらのオーバーフロー事象を挙げた、その対応を作業手順等等に整備いたします。また、
0:29:10	装置の不具合の処置としては、輸送容器を吊り下ろして安全を確保した上で点検を行った点検の結果必要に応じてモーター等の点検を行うということで、こちら、燃料発言については郵便等のフェーズはございません
0:29:24	ある大きなもので、これは取り込まれるものでございませんで、何かあれば、これ終わりだとしても、直ちに安全上の問題もあることございまして、
0:29:36	A 等級要因はございませんけれどもそれから何かで問題あればそれから発注して、4 ヶ月程度で納入できるんじゃないかと考えてございますこちらの規格でございますので、
0:29:47	ものがあれば進めにできると考えております。その他、その方には、ブレーキとか戦力品とか C O N T R O L L E R とかですね、そういったものの及び費用を、
0:29:57	用意しましてそれに交換を行うということを考えてございます。
0:30:03	この月数が約 4 ヶ月というのは予備日がまだ現在のところないものがございまして。そういったものについては、安全上問題があるとは考えておりませんで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:12	お願いをして、それがあった時点でそれから対応することで問題ないと考えてございます。
0:30:19	このように、商品の配置に関わる操作に関して最初を挙げて、その処置対策を整理いたしました。
0:30:36	はい。
0:30:38	参考の部分は工程洗浄のこれまでの記載を考慮しまして、我々の方で整理したものでございます。
0:30:48	開設計画におきまして前半の落下評価ですねそういったものについて反映させていただきたいと考えてございます。
0:30:55	今回、御説明については、以前となります。
0:31:00	規制庁をお願いします。
0:31:11	じゃあ、すみません、有吉です。
0:31:15	10、12 ページ、核分裂生成物の移行。
0:31:21	全量がというのは当然、
0:31:24	あれですよーね一体一体ですよーね。
0:31:27	1 回取り込まれる。
0:31:32	事務長、佐藤でございます今回では想定される事象として、使用済み燃料、泡県が損傷高上げておりますんで、一体となります。
0:31:53	これすみませんダーさっき見たばかりで、ちょっと全部理解できてないんですけど、高さ何メートルぐらいから落下させたという想定なんです。
0:32:13	はい。衛藤。
0:32:16	7 ページ目の図をご覧ください高さというのは、
0:32:21	ファクターとして入れてはない。全量、
0:32:23	が出るということで想定してますんで入れてませんけども、7 ページの図で言いますと、ちょうど 0。
0:32:30	右からいくと④番の部分ですね、燃料、吊り上げて、
0:32:35	バスケットからとりあえず吊り上げてその時に切れるということを想定しております。
0:32:42	あれ、要するに、④番のところで、バス血糖の中に何体か燃料があっ
0:32:50	て、 それでも 1 回しか壊れないという想定で大丈夫なんですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:56	はい。バスケット自身は蓋がついておりまして、その蓋を開けておいて繰り出します。それを移動中に曲げたということを想定しております。はい。
0:33:05	わかりました。
0:33:13	あと 11 ページワイヤーロープ二重化するということで、これ、事務局の方、あれ、何ページ。
0:33:44	8 ページか。
0:33:48	これって何か
0:33:51	二重化するというので、
0:33:55	クレーンの何かそういう形みたいなやつも変わるんですかね。
0:33:58	交換日ですけど。
0:34:00	今回、各クレーンの改造箇所は、この真ん中の部分と、それをうまくそのワイヤーを変えるだけで、専用系、
0:34:10	暴行倉庫、或いはつり上げのモーター、或いはなどは一切変えません。このワイヤーだけの変更の場合とこの会社の部分だけの変更になります。
0:34:19	路線というのは全く変わりません。
0:34:44	はい。
0:34:49	ウエノです廃止措置計画の中で、
0:34:54	す。今回の想定燃料体 1 本の発想というのは、
0:35:00	現状では、評価の
0:35:02	事故想定の中に入っていないということなんですかね。
0:35:08	はい。ありがとうございます。申し訳ございません。説明の中で組織再編を受けてございました。6 ページ目、最後の部分ですね、まとめの部分までご説明申し上げました、環境影響評価の中でその部分にございますけども、
0:35:22	現状、事業性の中に我々主に燃料の落下評価ってのは入っておりません。なので今回廃止措置計画の中で、この評価を入れることを考えてございます。
0:35:33	それに対しての結果というものは、最初から 4 行目にございますけれども、再処理事業指定申請書の中での
0:35:43	テーマはですね、そういった機械故障等の類影響の説明書で説明してる想定事故の多い事項の評価、結果の包含されるということを考えてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:57	自己評価の方は今回の搬送受けな計画の中で
0:36:02	お示ししたいと思っております。
0:36:07	はい。ですので現状の廃止措置計画の中では、
0:36:12	この1本の
0:36:14	落下による事故想定っていうのは、
0:36:17	今は入ってないっていうことでいいんですよね。
0:36:21	はい。その通りでございます。
0:36:23	はい、わかりました。
0:36:32	そっかよろしいでしょうか。
0:36:36	それでは引き続き資料3の説明をお願いします。
0:36:43	はい。藤施設保全課、竹内と申しますよろしくお願いいたします。資料3については分離精製工場及び移行放射線廃棄所道場への用水供給配管の一部更新ということで
0:36:55	ご説明いたします。まず1ということで概要なんですけれども、最初に施設の浄水供給配管というものについては、
0:37:04	施設内とか敷地内ですね、に広域に今配置されておりまして、設置から30年程度経過しているということもありまして順次今更新を進めているところになります。
0:37:14	現在津波防護柵の設置工事、或いは高放射性廃液貯蔵場の南側の地盤改良工事ということをしてございますけれども、
0:37:25	その工事区域内にも浄水配管が埋設されているということもありまして、これらの安全工事、安全対策工事の影響を考慮して、早めに
0:37:38	方針を行い、0 浄水供給配管の健全性を確保するということで、安全対策工事を円滑に進めていきたいというふうに考えてございます。
0:37:47	本件、で実施する浄水供給配管の一部更新、
0:37:52	ですけれども、分離精製工場を公社債貯蔵所、貯蔵場への
0:37:58	浄水供給配管の一部を更新するものになりまして、更新にあたっては、既設と同等以上の強度及び肉厚を有する配管。
0:38:06	を用いて更新するというふうに考えてございます。
0:38:09	なおですね、この浄水供給配管については、消火設備でも浄水供給しているということもありますので消防法に基づく届け出等を合わせて行って実施したいというふうに考えてございます。
0:38:24	2 ポツということで更新の概要については、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:28	今回行う浄水供給配管の一部更新については、昭和 55 年 12 月 3 日の設計及び工事の方法の認可、
0:38:37	においてですね認可を受けたものをしてその他再処理施設の附属施設の 6、ユーティリティ施設に記載がありまして、耐震区分については C 類ということに、でございます。
0:38:52	上水道管供給配管の一部更新について令和元年ですね、2、同様な方法で実施しておりまして、し、
0:39:01	している、おりますけれどもそれと同様にですね、
0:39:05	既設と同様、同等以上の強度及び肉厚を有するハイバン S T P T 配管になりますけれども、を用いて更新いたします。それとともにですね
0:39:15	フランジ溶接法人型間継ぎ手というものをを用いて接続してですね、漏れ方に構造としていきたいというふうに考えてございます。
0:39:25	次の 24 ページに今回用いる配管ということで代表的なものをお伝えさせてしておりますけれども、従来、C P 配管を用いてございます。
0:39:39	今回は S T P G 配管ということで肉厚の厚いものに変更することで耐久性等を上げていきたいというふうに考えてございます。
0:39:48	次のページ 25 ページになりますけれども今回更新をする配管系ということで
0:39:55	太い部分がですね今回等を
0:39:58	更新をする、したいと考えてございます配管になります。
0:40:03	所々にクロマル数字が入っておりますけれどもここ、こちらにハウジング型貫通率を用いて、変位を
0:40:13	10 埋設配管ですので多少なりとも変異がございますので、その辺を吸収していくというような構造にしていきたいと、いうふうに考えてございます。
0:40:22	次の 26 ページについては、そのハウジングについての概要ということで示させていただいております。
0:40:30	向かって四角囲いされているもの、上、左上ですね、が、全体用全体の姿図になります。
0:40:41	右側については、断面構造ということで配管にそれぞれ
0:40:47	③ということで、リングが溶接でつけてございますこれらの落下防止をする、
0:40:53	リングになってございます。これをゴムは
0:40:57	つけたものを上下から挟み込んでハウジングで挟み込んで、
0:41:02	接続するということになります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:08	本部 243 ページの方になります。
0:41:11	そのようなやり方で今回も更新して参りたいと思います。でですね、一部の配管においてステンレス製のものでございますので、
0:41:21	そちらについては 1 週間、異種金属管理職を抑制するという事で
0:41:27	絶縁をされたボルト等を使って処置していくというふうに考えてございます。
0:41:33	浄水供給配管設備更新工事については、配管敷設ルートですね、掘削新規配管の敷設後、各種試験検査を行った上で、
0:41:44	更新範囲の浄水供給配管を既設弁にて隔離して参ります。
0:41:49	その際ですねガラス固化処理し、技術開発室の方の運転終了後に、
0:41:54	行うということにしてですね、浄水器を停止範囲についてはとなるメンプラントをすいません、分離精製工場、高放射性廃液貯蔵場等について消火栓、
0:42:06	及び冷却水設備への表。
0:42:10	給水用の貯槽がありますけれどもそちらの方には在介給水、
0:42:14	或いは、
0:42:15	宇和コースを延長して、延長できるホースの配備等を行って、
0:42:20	措置を行うことによってレース、浄水停止時の消火機能を確保していきたいというふうに考えてございます。
0:42:28	24 ページになりますが、
0:42:30	3 ポツということで、試験検査については、板野通り五つですね考えてございます。材料検査、あと耐圧漏えい検査 1 ということで、浸透探傷試験、
0:42:41	あと 303 ということで対耐圧漏えい検査にということで耐圧試験、
0:42:46	④ということで、据付外観検査で外観検査、あと⑤ということで千頭検査というふうに考えてございます。
0:42:54	4 ポツということで浄水供給配管の保守についてですけれども、
0:42:58	再処理の浄水供給配管については埋設部の部分、あと屋外に露出してる部分とあと
0:43:07	共同構内に設置されてるというものがあまして経年変化によって色工作等の劣化が見られる場合については、
0:43:16	募集事務等により募集を行うということと、施設と同等以上の強度及び肉厚を有する配管を用いて、適宜交換して、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:25	浄水供給系統の性能維持というものを図っていきたいというふうを考えてございます。
0:43:32	説明は以上になります。
0:43:37	清町側から確認等あればお願いします。
0:43:49	すいませんアリヨシですけど、これ地盤改良工事。
0:43:53	の部分と関係するんですよ。
0:43:56	これこの配管のリプレースが進まないと、地盤改良工事を進まないってことになる。
0:44:10	必ずしもそういうことではありませんけれども、潜航その工事が始まる場所ということの前にさ、先んじてやるということで、影響受けにくいような状態では健全性を確保することで、
0:44:25	浄水が漏れないようにしていきたいというふう考えておりますので、
0:44:29	できて、この更新が進んでいないので工事が全くできないということではございません。
0:44:35	要するに
0:44:38	どうなるわけ。
0:44:42	これは新しく配管を敷設した後に、その地盤改良工事をやるという流れになるんですか。
0:44:54	今回コンクリートを入れていく範囲というのが、T P - 0 名
0:45:02	で、概ね 0 メーターから
0:45:04	D P 4 メーターほどまでの範囲にコンクリートを入れていくことになります。今回の浄水配管の更新範囲という範囲というか、深さというのは、1 メーターから 1.5 メーターあたり、となりますのでその深さが違いますので
0:45:19	範囲を分けながらやることは十分可能なことだというふう考えてございます。
0:45:24	可能だということは、そういう計画はまだすべて決めてるわけではなくって、これから決めていくということでより良いんですか。
0:45:33	詳細についてはそうなりますけれども概要的には問題なくできるというふうに考えてございます。
0:45:42	はい。
0:45:55	ウエノです。ちょっと
0:45:58	23 ページの、
0:46:00	記載で教えて欲しいんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:03	下から 4 ページ目ぐらいに、4 行目ぐらいに、
0:46:07	ガラス固化技術開発施設の運転終了後に行うと。
0:46:12	これを言ってるのは、
0:46:16	タイミング的にはいつのことを言ってるんですかね。
0:46:22	はい。ちょっと舌足らずなところがあるかと思いますがすいません申し訳ありません。布設工事自体の認可を行っていき、12 月頃に現状のスケジュールであれば、ガラス固化体、すいませんガラス固化技術開発施設の運転が、
0:46:38	終了する見込みですので、その後に、浄水場水の供給を必要な範囲を停止いたしまして、
0:46:46	その接続を既設配管との接続を行うということになります。
0:46:52	それが大体 12 月の頃ということ。
0:46:57	になります。
0:46:59	計画は計画ですか。
0:47:06	はい。
0:47:08	うん。
0:47:22	ごめんなさいね
0:47:26	運転終了って言ってるんで、すいません、施設の
0:47:32	施設の廃止措置が終了ということではない学生がそこかが、
0:47:37	してないときになっていうことですよ。
0:47:41	はいその通りです。
0:47:44	はい。
0:47:52	あと
0:47:56	23 ページの一番下のところにその基礎すでに認可取得済みの、
0:48:02	部分が示されてるんですが、
0:48:10	例えば 25 ページに、
0:48:14	節説明としては
0:48:17	その部分を、何か示すことってできるんですかね。
0:48:27	えっとですね 23 ページの※のところで示さして、示してございます。認可申請については、
0:48:37	等、
0:48:39	この中に合わせて設営と書くことは可能なんですけれども、
0:48:44	今回やる場所とは、全く違う場所ではありますけれども、
0:48:49	安保でございますか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:51	衛藤。
0:48:53	今回はこの２回、２回目、
0:48:56	分割した２回目だってことなんですかね。それとあとは今後その今田黒野になってないところも、なかなか順次更新していく計画だっていうことなんですかね。
0:49:09	ちょっと前へ全体が、全体、例えば５分割にする予定なんですか、その別にその将来のものはいいんですけど、
0:49:19	今回は２回目なんですとか、何となくその順番みたいのがわかればなと思ったんですが、
0:49:32	計画自体はを持ってはおるんですけども、その応答通りに行くかどうかといけるかどうかというところもちょっとなかなか、
0:49:44	その予算とか電話って難しいところもございますので、通常認可申請時については今回やる範囲ということでお示しさせていただいてると。
0:49:54	ということです。
0:49:57	ごめんなさい。だから申請としてはどの範囲ってということで申請書はその対象の部分を示せばいいんですが、
0:50:05	説明として、何か全体が示せるものが、
0:50:10	ありますか、ねっていうことなんですか。
0:50:25	技術の中根です。ちょっと補足させてください。前回の、ここに書いてあります前回配管の更新っていうのは、実は事後保全で漏えいが発生したところに対して、
0:50:38	更新工事をかけるために認可いただいてやってるところになります。で、今回は、地盤改良を行う範囲等を重なるところについて、
0:50:51	地盤改良をやるときに、高さが違うので、それぞれ並行してできるんですけど、干渉して損傷させる恐れもありますので、
0:51:03	この谷田から新しくしておこうということで、工事を流行たいというところであります。まだ全体的な浄水配管についての、
0:51:13	更新計画っていうのは、まだ現状具体的な計画っていうのは持っていないというのが、現状でございます。おそらく事後保全になる部分と、計画的に予防保全的にやるところと、
0:51:26	並行して今後やっていくということになるかと思ってます。あと、その際に、やはりちょっと漏れる度に維持保全もある程度発生せざるをえないのかなとは思ってるんですけど。
0:51:37	そのために認可をいただくというのは、なかなか、
0:51:40	今後、大変になってくると思いますので、そういう意味で、

※１ 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※２ 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:45	しばらく前からの相談をさせていただいてます。こういった、
0:51:49	上載配管系統の更新の認可の合理化という相談をさせていただきまして、またこちらの方がまだ整ってない状況ですので今回はちょっと個別に、
0:52:01	申請させていただいてメーカーをいただければと思ってるところでございます。
0:52:08	はい。
0:52:09	状況わかりました。はい。
0:52:18	すみません、原子力規制庁の荒井です。音声よろしいでしょうか。
0:52:22	お願いします。
0:52:23	はい。4 ポツのところで、浄水供給配管で地中埋設のものがあるというふうに書かれてるんですけども、こちらの管理はどのように行うのか、自己管理ということで、漏れたら交換ということにするのはちょっと教えていただければなというふうに思います。
0:52:40	あと漏れが生じた場合は
0:52:45	流量をに反映される場合、あとは漏れ箇所からの湧水等でわかりますので、その対応、その時に
0:52:54	補修を、保守、クラブ等の補修を行った後、
0:52:58	配管をと、部分的なパイプ配管の交換をさせていただき、いただきたいということで4 カトウに書かせていただいております。
0:53:07	ありがとう。基本的には事後保全ということでよろしいんでしょう。
0:53:13	はい、結構です。
0:53:14	わかりました。ちなみにこのナカノ水には放射性物質等を含んでるんでしょうか。
0:53:20	全くありません。全くないんですね。わかりました。浄水工業用水です。工業用水ですねわかりました。
0:53:27	あともう1 点なんですけれども、一部ステンレスこを使われてるってことなんですがこの使えるわけですが、どんなところでステンレスを使ってるのかというのをちょっと教えていただけないでしょうか。
0:53:38	今回のステンレス高が使われている箇所というのは、高放射性廃液貯蔵場、すみません、貯蔵場に用水を、
0:53:47	送っている
0:53:49	所、高放射性廃液貯蔵場の配管になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:54	のでそこはステンレス構造になっておりますので、一生懸命こう腐食が 終わるように処置していくと、いきながら、接続するということになり ます。
0:54:03	この使い分けの考え方というのはどういったもので分けてるんでしょ うか。
0:54:10	基本的には丹十河でいいんですけれども、高放射性廃液貯蔵場、建設し た際にですね、多くのプロセス用配管とか冷却水配管について、
0:54:23	先月高を用いてせ、
0:54:27	値設計設置された、おりまして、当該の配管もそのうちの一部の配管に なっております。ですのでこここれが使い分けだという意味でステンレ スが使われているわけではございません。
0:54:40	承知いたしましたありがとうございます。
0:54:50	その他よろしいでしょうか。
0:55:00	あかんクリサキですけどよろしいでしょうか。お願いします。ちょっと 素朴な質問なんですけど、この前ちょっと、もう一つぐらいかな、ちょ っとクリプトンの施設、近くのところで確か消火栓かなんかのところの 漏水はったと思うんですけど、
0:55:18	ああいったところは、今回の対象には含まないということでしょうか。
0:55:24	はい。ご辛抱おかけしておりましたけれどもこちらの方の配管の部分に ついては補修が行えておりますので今回の対象には含めてございませ んが、
0:55:35	ここを漏えいがあったり、あとは、今後の計画としてできる際には、 や、
0:55:44	本と実施していきたいというふうに考えてございます。
0:55:48	下クリサキですあ、事故保全的にはもうそこの保守が終わってるって いうことですね。わかりました。
0:55:55	はい結構です。
0:56:07	これよろしいでしょうか。
0:56:12	それでは、続いて資料4についてお願いします。
0:56:17	はい。演習機構ナカバヤシの方から説明させていただきます資料4は今 月末をもって
0:56:25	申請を計画しております廃止措置計画変更認可申請書の内容、項目を整 理、
0:56:33	いたしたものでございます。
0:56:36	2ポツの方ないように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:39	簡単に示してございます。まず一つ今回の主たるもの、申請内容であります使用済み燃料の搬出につきまして申請させていただきます。
0:56:54	こちらはただし今、話題というか議論になっております再処理事業変更許可の方につきましては前回の面談等、
0:57:05	のコメントを踏まえまして、保険側と
0:57:09	足並みをそろえた上で
0:57:12	基本的に
0:57:14	S F の搬出前までに行うということでございますが今の時点で最短で7月以降になるかなというところで考えてございます。
0:57:25	二つ目が性能維持施設の追加ということでこちらは昨年度までで設工認含めて申請が終了いたしました。最後の申請の便であります火災対策とか内部溢水、
0:57:39	あと事故対象のアクセスルートの
0:57:42	冗長化といったところに関わる性能維持施設の追加、これ前回の申請の方2入れるようには準備はしていたんですけども、ちょっとタイミング的に、
0:57:52	うまく合わなかったので今回の申請の中でさせていただきたいと考えてございます。
0:58:00	三つ目こちらも
0:58:02	その安全対策工事を行う上で以前の保全区域、
0:58:09	ですと、ちょっと工事ができないところがありましたので、
0:58:14	久喜にですね保安規定の方で保全区域の変更を行っておりますが保全区域の図が再処理の廃止措置、計画、
0:58:25	変更認可申請書の中に一部含まれておりました図3-1というものに、保全区域というキャプションでついてますがその図を差し替える。
0:58:35	ことで保安規定とを一致させる整合させるという申請を
0:58:41	進めさせていただきます。
0:58:44	その次側の設計及び工事の計画ということで3件、予定してございます。一つは
0:58:53	本日もご説明いたしました使用済み燃料の搬出以下、
0:58:57	関連しましてその搬出の確実さを上げるために燃料かつクレーンのワイヤーロープ二重化を行う工事。
0:59:05	お家マスで、二つ目。
0:59:08	こちらは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:10	本年 2 月、
0:59:12	14 日に発生して、17 日に面談でご相談させていただいた案件でございますがガラス固化、
0:59:21	技術開発施設を、固化セル内のインセルクーラーの電動機ユニットが故障したと、ということでそちらの交換でございます。交換そのものは 2 月 17 日の面談の時に、
0:59:33	申請を待たずして交換してよいと、こういうを確認、しておりますが、その事後になります設備の申請をここで今回含めさせていただきたいと思います。
0:59:47	三つ目は今ご説明いたしました女性会館の一部更新と、
0:59:53	いうものです。
0:59:55	もう一つ
0:59:57	計画変更認可申請書につきましては、以上のものを含めて 6 月末までに訂正させていただきたいと思います。
1:00:05	なお同時にですね、性能維持施設の追加に関わっては保安規定も変更必要になりますので、こちらの変更に係る保安規定も同時に申請させていただきたいと考えております。説明の方以上になります。
1:00:23	はい。規制庁側から確認等あればお願いします。
1:00:28	これ使用済み燃料の搬出っていうのは、あれ事業指定の
1:00:33	変更認可とか変更許可か。
1:00:36	素晴らしいことができるんですね。
1:00:41	順番気にしないでいいんですね。
1:00:43	措置計画上はもう搬出するってことになってるから、
1:00:51	明日実際に搬出する。
1:00:54	ところの手前までは、瓜生、うん。
1:00:59	はい。
1:01:10	他よろしいでしょうか。
1:01:13	では、スケジュールの説明をお願いします。
1:01:20	はい。衛生センターの布田です。それでは質疑について説明させていただきます。本日 6 月 10 日ということで S F の搬出、それからその他の設工認案件ということで先ほど用地配管の更新の件、ご説明させていただいております。またこの進捗状況についても瀬瀬が説明させていただいております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:39	次回につきましては来週 6 月 15 日の水曜日ということでお願いできればと考えております。予定している案件としましては、
1:01:48	N W T F の津波対策の方針の件、それからガラス固化の進捗状況については、ぎりぎりご報告をさせていただきたいと考えております。
1:01:58	それ以降のスケジュールにつきましても順次具体化していきたいと考えておる。
1:02:03	ありますのでよろしくお願いいたします。簡単ですが以上です。
1:02:09	慎重バンカー何かありましたらお願いします。
1:02:23	全体を通じて何かありますか。
1:02:26	特にはないですね。
1:02:28	はい。
1:02:33	所浄水配管のう。
1:02:37	改造に関しては、
1:02:40	現在のその安全対策工事との、
1:02:43	干渉なのか。
1:02:46	しないしないっていうご説明だと思うので、その辺は少しまた引き続き、
1:02:51	確認させていただきたいなと思ってますのでよろしくお願いいたします。
1:02:57	あ、すいません。規制庁の荒井です。1 点ちょっと聞きそびれてしまったことがあるんですけどよろしいでしょうか。お願いします。
1:03:04	12 ページからちょっと待ってください。18 ページです。
1:03:11	燃料価格クレーンの、
1:03:14	二重化の話なんですけれども、
1:03:18	目下、
1:03:19	えっと、
1:03:23	8 ページですね失礼しました、8 ページのところで、
1:03:26	これで二重化するということで、赤いワイヤーロープと青いワイヤーロープの間、日本で、
1:03:33	支えるということだと思うんですけども、何か素人質問で申し訳ないんですがこれ片っぽのワイヤーが切れたらバラックと起こせないんですけど、どういった、
1:03:43	報道なんでしょう。
1:03:45	はい。衛藤。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:47	伊勢さん仲間です。青い例えば青色のやつが聞いたときに、青と赤はこの真ん中の部分で、
1:03:56	それが固まっていますので、青柳のデータとしても赤いやつ場で、味を全部受けて止まることになります。そこで、これまで、
1:04:05	2E で右のバランスには長さを調整してたものが、この止める機構で止まっていますんでそれはもう、
1:04:14	1本引いても、もう1個動かないということになりますその若干ずれますんでそれについてそこにはねがございましてどれの長さで
1:04:26	サルサ分を吸収することになりますので、一本が増えたとしても或いはもう一本で配布することができます。
1:04:36	わかりました。ありがとうございます。
1:04:49	機構側から何かありますか。
1:04:55	はい、以上になります。
1:04:59	それでは本日のヒアリングは以上で終了します。
1:05:03	ありがとうございました。
1:05:05	どうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。